

第74回仙台市中学校総合体育大会バドミントン競技実施要項

- 1 期 日 令和7年6月14日(土) 宮城野体育館 8:00開場 9:00開始式
15日(日) 青葉体育館 8:00開場 9:00開始式
6月15日(日) 宮城野体育館 9:15試合開始 男女ダブルス シングルス
16日(月) 青葉体育館 9:15試合開始 男女ダブルス シングルス
6月16日(月) 宮城野体育館 9:15試合開始 男女ダブルス シングルス
17日(火) 青葉体育館 9:15試合開始 男女ダブルス シングルス
※開始式前に顧問の打合せを行います。試合は開始式後、速やかに行います。

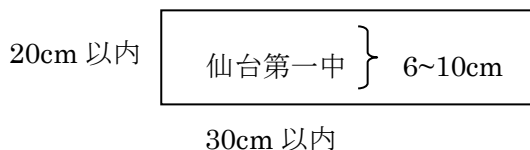
- 2 会 場 仙台市青葉体育館(青葉区, 太白区 男女)
仙台市宮城野体育館(泉区, 若林区, 宮城野区 男女)

- 3 競技規則 令和7年度日本バドミントン協会競技規則及び本大会競技規則による。

4 大会規定

(1) 競技規則

- ① ポイント制限 団体戦・個人戦ともすべて15ポイントとする。14点で両者の得点が並んだときは、先に2点差をつけるか、21点目を取った方を勝者とする。
- ② 服装 令和7年度日本バドミントン協会審査合格品を着用する。
- ③ 学校名をウェアの背面に表示する。色は鮮明な日本字とする。
文字列各行の大きさは6cm～10cm以内、横30cm以内する。一行で表示できない場合は複数行になっても構わないが、その場合でも規定の文字列の高さを超えないこと(※日本バドミントン協会大会運営規定の改定のため)。学校名を表示したゼッケンを安全ピンでとめる、あるいは、文字をユニフォームに直接書いても構わない。



- ④ 不快な振る舞い、不品行な振る舞いをしてはならない。応援も同様に節度をもって行い、競技中に行ってはならない。警告を与え、フォルトとする事もある。
- ⑤ 監督は1名で、当該校の教職員あるいは部活動指導員とし、部外者を充てることはできない。
- ⑥ コーチは1名で、当該校の教職員か部活動指導員、または校長の認めた者とし、団体戦と個人戦でベンチ入りができる。外部・校外コーチの場合、所定のコーチ確認書(承認書)を申し込みと同時に提出すること。

(2) 競技方法

- ① 各種目ともトーナメントにより優勝を決定する。
- ② 団体戦はD1・S・D2の順に行い、2点先取で勝敗を決する。選手はDとSの両方に重複して出場できない。またD1とD2に重複して出場することもできない。

(3) 申込規定

- ① 5月7日（水）17時00分まで各区専門部副委員長に、所定の申込用紙に職印のあるものを直接郵送またはFAXにて届ける。あるいは、職印を押印した申込書等をPDF化（フルカラー・300dpi以上に限る）したものをメールまたはC4t hにて送信する。ただし、FAXについては、申込用紙原本を抽選会当日に持参すること。抽選会は5月14日（水）将監東中学校にて行う。
（注）メール便は絶対に使用しないでください。期限までに届かない可能性があります。
- ② 申込用紙は、所定の用紙を使用すること。（仙台市中体連ホームページにアップされた様式を使用する。）
- ③ 申込書と同時に選手名簿をデータで送信すること。申込方法の事務連絡を参照。
- ④ 団体戦は5～8名で申し込むこと。4名以下で申し込むことはできない。団体戦の選手の変更は大会当日の監督会議まで認められる。ただし、選手を追加することはできない。
- ⑤ 個人戦は男女とも各校ダブルス3パート、シングルス3名までとする。ただし、同一人がダブルスとシングルスを兼ねることはできない。個人戦の選手変更は申し込み締め切り後、一切認められない。

(4) 使用シャトル

日本バドミントン協会検定合格球（本部より渡されたものを使用する。）

エアロセンサー700（ヨネックス）、エメラルド（ゴーセン）、PRO-EX（PROフェザー）

(5) 審判

- ① 団体戦においては、タイムテーブルの一巡目の試合は本部が指定する。それ以降は敗者校が行う。その際、敗者校監督が主審（生徒）の側にいること。
- ② 個人戦においては、タイムテーブルの一巡目の試合は本部が指定する。それ以降は、勝者校が線審、敗者校が主審・得点係を行う。

(6) 外部（あるいは校外）コーチおよびクラブチームの監督・コーチについて

- ① 大会が学校教育管理下にあることを認識し、その品位を保つために、服装を整えらるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力するものとする。
- ② 校長が認めたコーチにおいても、コーチとしての品位に欠ける場合、及び大会運営に非協力的な場合は、大会事務局はその理由を当該校顧問に言明し、コーチのベンチ入りを認めないことがある。
- ③ コーチの変更については、監督会議の前に当該校校長の書面によって大会事務局まで申し出ること。
- ④ 複数校のコーチの兼任は認めない。そのことについては顧問が事前に確認しておくこと。
- ⑤ 競技に関する質問は、監督及び競技者のみに認められる。ただし、個人戦に関しては選手にのみ質問する権利がある。

※ 外部コーチ：校長の承認した者で、日常の学校部活動の指導に当たっている者

校外コーチ：クラブ・道場等の指導に当たっている者

(7) コーチと複数顧問について

- ① 団体戦，個人戦ともにベンチ入りできる大人の人数は，最大で2名までとする。
- ② 顧問が2人いるチームは，両方ともベンチ入りすることができる。その際は，一人は「監督」として，もう一人は「コーチ」としてのベンチ入りとなる。当該校教職員がコーチの場合のみ，コーチ確認書の提出は必要ないものとする。
- ③ 顧問が複数いて，コーチ（外部・校外）をベンチ入りさせる場合は，顧問のうち監督1名だけがベンチ入りできる。他方は，観客席等からの応援になる。
※ 外部コーチ・校外コーチは各チーム1名のみとする。
- ④ 個人戦では，顧問が複数の場合，別々のコートにベンチ入りできる。また，個人戦でも外部コーチ，校外コーチのベンチ入りを認める。
- ⑤ 生徒はベンチに入ることはできない。

(8) その他

- ① 団体戦・個人戦とも競技開始前及び終了のときは，各校の監督・選手はお互いに挨拶を行う。
- ② コートのあるフロアーには，監督・認められたコーチ，選手以外入ってはならない。また，競技中コートの間に座り込んだり，歩行したりしてはならない。
- ③ 会場使用上の注意を守り，許可された場所以外の出入りは絶対にしない。
- ④ 組合せ表内のa～gは個人県大会代表決定戦である。